



20-4



20-5



20-2



20-1



20-3



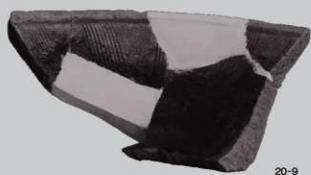
20-7



20-6



20-8



20-9



56-7



56-1



56-2



56-3



56-4



56-5



56-6



20-10



20-11



20-12



56-8



19-34



57-3



57-2



22-3



22-5



22-6



22-6



21-1



21-2



57-1



22-1



57-4



22-2

報 告 書 抄 録

ふりがな	ふじまきたちんぼういせき							
書名	藤巻多珍坊遺跡							
副書名	中部縦貫自動車道建設事業に伴う調査7							
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第101集							
編著者名	山本孝一・中川佳三・田中勝之・宮崎認							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL 0776-41-3644							
発行年月日	西暦2008年03月24日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	°'〃	°'〃			
ふじまき 藤巻	ふくいけんよしだぐん 福井県吉田郡	18322		36° 04' 03"	136° 24' 50"	20020703 ～ 20021226	8,300㎡	中部縦貫自動車道 建設
たちんぼういせき 多珍坊遺跡	えいへいじちようふじまき 永平寺町藤巻					20030702 ～ 20031224		
遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
藤巻多珍坊 遺跡	城館 窯 散布地	縄文時代 平安時代 室町時代 安土・桃山時代	須恵器窯3 灰原2 掘立柱建物2 礎石建物5 石垣3・溝16 落し穴1	須恵器 土師質皿 国産陶磁器(越前・ 瀬戸・美濃) 輸入磁器(青磁) 石硯		須恵器窯を3基検出した。 灰原から陶製人形・陶馬・鳥形 陶製の蓋が出土した。		
要約	8世紀後半～9世紀初頭の須恵器窯を3基と灰原2ヵ所検出し、多量の須恵器が出土した。 16世紀後半～17世紀初頭の館跡に関連する複数の平坦面と石垣、および、ほぼ同時に存在した坊跡 に関連する掘立柱建物2棟、礎石建物2棟などを検出した。また、「地鎮」祭祀の痕跡も認められた。							

福井県埋蔵文化財調査報告 第101集

藤 卷 多 珍 坊 遺 跡

—中部縦貫自動車建設事業に伴う調査7—

平成20年3月17日印刷

平成20年3月24日発行

発行：福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安波賀町4-10

印刷：白崎印刷株式会社

〒910-0843 福井市西園発3-715
